

近畿運輸局 海事振興部
船舶産業課 主査
【船舶技官】平成21年10月入省

略歴

令和3年10月 育児休業
令和4年5月 近畿運輸局 海上安全環境部
海事技術専門官(船舶検査官)
令和5年4月 近畿運輸局 海事振興部
船舶産業課 主査



国土交通省に入省したきっかけ・理由は何ですか？

もともと船が好きで船員になるための勉強をしていましたが、学校で行われた業務説明会の時に「外国へ行くクルーズ客船から貨物船、自動車運搬船、タンカー、漁船など様々な船を見ることができる」という言葉に惹かれ船舶技官の道を選びました。

現在の仕事内容について教えてください。

今年4月までは海上安全環境部で船舶検査官・船舶測度官として船舶や人命の安全、海洋環境の保護、海事分野における公平な指標(トン数)の適用や船舶の財産権の保全に携わってきました。

現在は、海事振興部船舶産業課で造船所の許可・登録業務、造船業・船用工業の生産状況に関する統計調査や人材確保・育成のための研修の企画立案、ボートレジャー振興のためのマリイベントへの後援や出展、健全なボートレースの運営のための監督業務を主に行っています。(船舶検査官、船舶測度官の仕事内容は海事系技官採用ページで紹介されています)



これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

船舶技官は国土交通省海事局をはじめ全国の地方運輸局、運輸支局、海事事務所に勤務しますが、場所が変われば建造する船舶やドックへ入る船舶、製造される船用機器も変わるので、とても地域色の濃い職業といえます。私は大阪の他に広島県尾道市、鳥取県境港市、兵庫県神戸市で勤務しましたが、その中でも鳥取時代に漁法による漁船の構造の違いを学べたことが貴重な体験になりました。また、現職では一般の方に造船業や船用工業の魅力、ボートレジャーの楽しみ方をどうアピールするかなど、海事振興という今までにない視点で仕事を行うので毎日が印象的です。

育児と仕事を両立させる秘訣は何でしょうか？

朝30分、夕方1時間30分の育児時間を取得し、3歳と1歳の子どもを育てています。片道1時間半の通勤をしているので、育児時間を取得しているといえど家庭のことをするにはドタバタな毎日ですが、この通勤時間が家庭モードと仕事モードを切り替えるいい時間になっています。私が心がけているのは「家庭のことも仕事のことも一人で抱えないこと」です。家庭の時間も仕事の時間も正直全然足りないので、自分で処理しきれない状態になったら早めに周りに頼ることも大切だと思っています。



最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

この紹介をお読みの方の中で船舶技官に興味があるという方はとても少ないと思います。ですが、島国である日本の輸出入においては99.5%を海運が担っており、船舶が私たちの生活を支えているといっても過言ではありません。その船舶が安全に航海を終えられるよう、法規制の立場から支えていく船舶技官に少しでも興味をもって頂ければとても嬉しいです。

